



FUKUI 2024

第47回

全国育樹祭

育てよう 幸せ芽吹く 緑の大地

Topics

3

全国育樹祭とは

健全で活力ある森林を育て、次の世代に引き継ぐことの大切さを伝えるため、昭和52年から毎年秋に、開催都道府県と(公社)国土緑化推進機構の共催により開催。全国植樹祭で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木を皇族殿下がお手入れされる育樹運動のシンボリック行事のほか、皇族殿下によるおことばや各種表彰等の式典行事を実施。

10月19日(土)から20日(日)にかけて、「育てよう 幸せ芽吹く 緑の大地」をテーマに、秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご臨席の下、第47回全国育樹祭が福井県福井市「一乗谷朝倉氏遺跡」及び越前市「サンドーム福井」で開催されました。

19日のお手入れ行事では、代表参加者による育樹活動(施肥)が行われ、オープニングアトラクションとして二胡の演奏が披露されました。その後、平成21年の第60回全国植樹祭で当時の天皇皇后両陛下がお手植えされたアカマツの枝打ちとスダジイへの施肥が、秋篠宮皇嗣同妃両殿下により行われました。

20日の式典行事では、冒頭で能登半島地震による犠牲者へ黙祷を捧げた後に、皇嗣殿下から「森林を後世へと引き継ぐことは、私たちの大切な務めである」との旨のおことばがありました。また、緑化推進や森林づくり活動に功績のあった方々への表彰と、小里農林水産大臣の立会

の下、全国から選ばれた緑の少年団への苗木の贈呈が行われました。

メインテーマアトラクション「蘇る栄華～しあわせの継承」では、福井県出身のシンガーソングライター・ヒナタカコさんが作词・作曲したテーマソング「緑のハーモニー～未来へおくる森のうた～」の本人による歌唱や、ハープ・マリンバの演奏が披露されました。県内で緑化等の活動に関わる子どもたちと県内中学校の合唱隊による合唱や、バレエ団体によるオリジナルダンスが加わり、華やかなフィナーレが演出されました。

最後に(公社)国土緑化推進機構の濱田理事長による「大会宣言」等が行われ、式典は幕を閉じました。

次回、第48回全国育樹祭は「次世代へ みどりのかけ橋 森づくり」を大会テーマに、令和7年秋に宮城県で開催される予定です。



お手入れをされる秋篠宮皇嗣殿下



緑の少年団へお声がけされる秋篠宮皇嗣同妃両殿下



おことばを述べられる秋篠宮皇嗣殿下



表彰を行う小里農林水産大臣